

担任団メッセージ第?弾 (忘れました) 4組担任の重高匡志です。

皆さん、元気に過ごしていますか。今日は遠足でBBQを楽しんでいるはずだったんですけどね。ということで、我が家の今日の晩ご飯はすき焼きにします。本当は、もう3日間も続いています。1日目は普通に食べ(お肉少なめ)、2日目はうどんを入れ、3日目の今日はどんぶりにして食べます。家事負担の軽減です笑。

それはさておき、今日はどんなメッセージを送ろうかと考えて悩んでいます。昨日、児玉先生がみんなにやって欲しいことを熱い思いとともに書いてくれたので、その通り、僕も同じ思いだ~!とも考えたのですが、それではさみしいので、将来を考えることに関わらせて、大学の学部のことでも書いてみようかと思っています。進路を考える上で、同じような学部名がありますよね。例えば、経済学vs経営学。何が違うんでしょうか。他にも、歴史学と考古学、人間科学や総合科学などなど。よく分からないまま大学に入ってしまうと、やっていることが面白くないということになってしまうかもしれません。全てを紹介することは無理ですが、少し紹介できたらと思います。

その1 経済学と経営学

端的に言うと、経済学は「経済の仕組み」について、経営学は「企業の経営」について考える学問です。

どちらに進んでも、進路に大きな違いはなくメーカーや銀行など、一般企業への就職が多いです。

①経済学

経済とは、サービスの提供やモノの購入、消費など、お金の取引が発生する活動のこと。この経済に関する歴史や理論を研究するのが経済学です。政治や行政との結びつきが強く、社会保障や外交に関連した研究もあります。

②経営学

経営学は販売計画の立て方、効率的な人材管理の方法、会計の仕組みなど、企業が事業を運営するために必要は活動について研究する学問です。研究対象は企業が最も多いですが、病院や軍隊、NGOなどの様々な組織を扱うこともあります。同じような学問に商学がありますが、商学は経営の中でも「商取引」に重点を置き、取引の方法や仕組みについて学ぶ学問です。

その2 歴史学と考古学

どちらも歴史を探究する学問で、考古学は歴史学の一部とされることもあります。ただし、歴史学が「いつ・どこで・何が起きたのか」を主に「文献」(日記や公文書や手紙など)から考察するのに対して、考古学は「遺跡」や「遺物」(土器など)から歴史を研究するといった違いがあります。また、考古学は遺跡や遺物の修復法、長期間にわたって保存する方法など、調査や保全の技術についても学びます。

「歴史学部」という名前を冠する大学は佛教大学のみで、文学部や人文科学系の学部に、学科やコースが設置されていることが多いです。また、同じ歴史学科でも、教授によりやっていることがバラバラなので、学科選びの際は、どの国や時代、どんなテーマの歴史を学びたいかを決めておくといいと思います。

その3 人間科学や総合科学

どちらも複数の学問を横断する「学際的」な学問です。人間科学は、心理、身体能力、文化など、主に人間にスポットを当てて研究をします。近年は、スポーツ科学や医療福祉の分野の研究も盛んです。

一方、総合科学は「一つの学問では解決できない問題を、複数の視点から考える学問」です。例えば、環境問題を森林、法律、経済などの様々分野からアプローチして解決を試みます。現代社会の〇〇問題に興味があるけど、どう学んだらよいか分からないといった人に向いているかもしれません。

なんだか文系よりの話になってしまいましたが、とにかく自分の興味がどんなところにあるのかをこの機会にしっかり考えておきましょう。そして、行きたい大学がある人は、大学の HP で、その大学の先生がどんな研究をやっているかを見ておくの良いと思います。

早く皆さんが学校に来れるようになり、話ができることを願っています。

本日の朝のメールで質問があった内容について返信しておきます。

①地理第2回と数学第9回の動画が見られません。

→視聴できるようになっています。

②現代文「見る」語句の意味調べのやり方を具体的に教えて欲しい。プリント配布と教科書の脚注問題3のプリントが無い。

→辞書を活用してください。脚注問題3はプリントではなく、教科書の下の方にある問題を解いておいてください。